

大会時・コロナ禍での取組

- ・2020年2月頃：東京テレワーク推進センターのセミナーに参加
テレワーク導入の準備開始
- ・2020年4月頃：テレワーク導入（テレワーク促進助成金を活用）

人の流れ

きっかけ

 以前より実施 オリバラ コロナ禍

□ テレワーク

実施率約5割。専門家のアドバイスにより勤怠ツールを導入。
就業規則に規定。「テレワーク東京ルール実践企業宣言」を実施

□ オフピーク通勤

管理職は早出・早退とリモートワークの組合せを実施（社員は通常勤務）

□ 会議等のオンライン化

社内で3回/日、短時間のオンライン会議を実施。社外もオンライン会議

□ 計画的な休暇取得の促進

1週間程度の計画休暇を交互に取得

□ 手続きの電子化

顧客によっては紙媒体のやり取りも有。電子押印も試行中

物の流れ

きっかけ

 以前より実施 オリバラ コロナ禍

□ 発注時期の調整

- ・顧客に対して口頭で納品が遅れる可能性がある旨を説明
- ・無観客開催となり、実際には影響なし

取組ポイント

- 専門家のアドバイスを受け準備・導入
- 複数回の短時間オンライン会議で連絡や引継ぎ等を共有（メンタルヘルスケアの一環としても実施）
- 全社員向けにオンラインで、ラジオ体操や雑談スピーチなどのレクリエーションを実施
- 計画休暇の取得はトップダウンで促進
- Webサーバーを新たに導入、どこからでもアクセス可能にすることで、手続きの電子化を推進

取組ポイント

- 顧客への事前の周知

今後の取組

人の流れ

継続して取組を実施予定

□ テレワーク

週に1～2回は出社予定

※ 顧客から受領する原稿の電子化等が今後の課題

テレワーク以外の取組については、
今後も大きなイベントが行われる際には、同様の対応を検討

物の流れ

□ 今後も大きなイベントが行われる際には、同様の対応を実施

【東京2020大会を振り返って】

- ・大会期間中の都内配送は時間がかかりそうだと言われており、いつ着いても良いので配送してほしいと伝えていた。
- ・発注時期について調整できるものは調整したが、無観客開催となったため、効果の程度は実感としては湧かなかった。